

『チームワーク』の精神で

一方、本市誕生から今日までの間に、市民の皆様や市議会議員の皆様が力強いご支援によりまして、地域住民の融和と「一つのまち・西条」という一体感の醸成、本市独自のまちづくりは大きく進んでいます。西条市は一つの「まちづくりチーム」であり、市民をはじめ、市政の発展にさまざまなお力添えをいただいている方々すべてが「チームメイト」であります。

新年度におきましても、地域住民間、産学官の連携に加え、都市間や国・県との連携を重要方針に位置付け、「チームワーク」の精神をもって、市民の皆様に関心事であります「周桑病院」の拠点病院としての機能維持をはじめ、行政諸課題の速やかな解決に向けて取り組むとともに、市民共有の貴重な財産である「水」を守るという姿勢を、ぶれることなく貫いてまいります。

新年度のキャッチフレーズは『攻め・挑戦・チームワーク』

以上の方針を踏まえて、新年度の市政の推進に当たりましては「攻め・挑戦・チームワーク」、これをキャッチフレーズに掲げ、勇気と情熱、そして行動力と中長期的な展望をもって、諸施策の展開や地域課題の克服に、さらには現下の難局への対応に、市民の皆様が目線に立って、全力をあげて取り組んでまいります。

そして引き続き「都市の自立と活力の喚起」「都市の個性の創出と創造力の発揮」「都市間の交流と連携の強化」を政策の基本理念に据え、これまで申し上げてまいりました発想を経営感覚と戦略的思考、積極的な情報発信を活かしながら「攻め」と「挑戦」の姿勢、「チームワーク」の精神をもって果敢に実行してまいります。

また、本市誕生5周年を節目として、改めて西条市発展の礎を築いてこられた先人の方々に深く感謝し、その気持ちを忘れることなく、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現につなげてまいります。

新年度施策の主な内容

健康で幸せな暮らしの実現

◆高齢者・障害者福祉の充実

高齢者や障害者が健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、きめ細かな福祉サービスを提供するなど、各種施策を積極的に推進します。

◆市民の健康づくり

ウォーキングなど運動との連携による相乗効果の発揮や、女性特有のがん検診など、各種保健事業を積極的に展開します。

◆子育て環境の充実

新年度から支給を開始する子ども手当に加え、継続して実施する就学前児童に対する医療費の完全無料化など、子育て世代の経済的な負担軽減を図るとともに、放課後における児童の健全育成事業等に引き続き取り組みます。

豊かな自然環境を
実感できるまちづくり

◆「水」の保全対策

本市の貴重な財産である「水」を未来に継承するため、平成19年度から取り組んできた地下水資源調査解析事業等の成果を基に、市民・事業所・行政が一体となつて、水資源の恒久的な保全策について検討します。

◆新エネルギー利用の支援

低炭素社会の実現に向けて、市民生活レベルから取り組むことが重要であることから、住宅用太陽光発電システムの設置に対する助成を新年度から増額し、市



本市の貴重な財産である「水」を未来に継承するため、市民・事業所・行政が一体となって、水資源の恒久的な保全策について検討します。

民の新エネルギー利用を積極的に支援します。

安心で快適な生活空間を
実感できるまちづくり

◆都市基盤の整備

幹線道路の整備や市道の改良を推進するとともに、「まちづくり交付金事業」で実施してきた、JR壬生川駅周辺およびJR伊予西条駅南側の整備にも引き続き積極的に取り組みます。

◆上下水道事業

西条処理区および東丹処理区の管渠の整備や、終末処理場の増設事業に取り組むとともに、上下水道事業と合わせ、快適な生活環境の充実を図ります。

◆公営住宅の整備・充実

(仮称)宝来団地の整備を推進し、良好な住宅環境の形成に努めます。

◆防災対策

市民の「安全・安心」を確保することは行政の責務であるとの認識の下、消防力の強化に努めるとともに、災害時に孤立の恐れがある山間部の過疎地に新たな防災情報モニターを設置するほか、12歳教育等の事業を継続して実施することにより、災害に強いまちづくりを一層推進します。

◆交通安全対策

高齢ドライバーを対象とした「高齢者交通安全教室」を自動車教習所で開催し、高齢者の交通安全意識の高揚・啓発に努めます。